

新年おめでとうございます

横浜市建築設計協同組合理事長 小澤 勝美



理事長挨拶	1
40周年記念式典	2
建築セミナー報告	3
組合員から40周年によせて 新組合員紹介	4-12
横浜市建築局 優良建築設計者 表彰	13-15
プロポーザル PR会	16
YSK研修旅行	17
教育環境研究会	18-19
地球環境研究会	20
絵画同好会 ゴルフコンペ	21
協力会だより 編集後記	22

皆様、おめでとうございます。昨年40周年事業を行い、新たな気持ちで新年を迎えます。今年は無事。どんな年になるでしょう。受注減対策や会員の高齢化、後継者問題等の「リスク」の回避、及び約300校の小中学校の建替え計画や技術やデザイン力の研鑽による新たな設計環境の確保等による「機会」の創出に向けて尽力します。

昨年「横浜市公共施設等総合管理計画（素案）」が発表されました。公共建築物約2,300施設、延べ860万㎡の施設の多目的化、複合化、集約化を図り、サービス水準を向上させながら、且つ長寿命化を図り、保全更新コストの適正化を図るといふものです。もちろん、脱炭素社会やSDGsへの貢献にも沿うものでなければなりません。

1年の計は元旦に有りと言いますが、今年も目標やYSKの存在意義を考えてみたいと思います。横浜には活用できる財産が数多くあります。開港の歴史にまつわるもの、港、はじめて物語、近代歴史的建造物、港と丘の景観、先進性・先取性やオリジナリティ気質等々です。都市を第二の森林にという木材利用促進をはじめ、神奈川に1件もない伝統的建造物群保全地区を、運河の活用も含めて横浜に誘致や、工事費の1%を芸術的用途に充てる「文化の1%システム」等も題材にあげ、新たな創出と活用が求められてくると思います。

持続可能な建築とは、一例として木造という観点から、再生可能環境材料として木材の活用、無形遺産となる木造伝統技術、匠の技の継承、木造耐火建築物等新技術の開発、木材の川上・川下の好循環の確立、自然との調和や新たな景観の創生等を兼ね備えたものだと思います。

具体的には今後の建築家の皆さんに期待しますが、YSKとしても微力ながら実現に向けて日夜努力していきたいと考えます。

皆様方のご支援とご理解をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

40周年記念式典

新しい時代を迎えて、40周年は次へのスタートです!!

40周年実行委員長 金子修司 株式会社金子設計

多くの皆様のご支援と組合員の努力により私達は創立40周年のお祝いを無事に行うことが出来ました。改めて心より感謝し、御礼申し上げます。コロナへの対策を取りつつ、久しぶりに多くの皆様と席を共にして、食事と会話を楽しむことが出来ました。リアルにお目にかかっての人と人の交流の大切さを実感として感じながら共に新しい時代へのスタートを切ることが出来た事は想定外の大きな喜びでした。これまでのご厚情に感謝しつつ発足当初からの40年の歴史や出来事を思い起こすと感無量です。



これまでもほぼ5年毎に時代を総括する意味で周年事業を行ってきましたが今回の40周年は、公共建築の設計に多く携わっている私達にとって大変意味の深い年であります。横浜市の営繕組織が出来て100年の節目を迎える年であり、神奈川県建築士会も創立70周年の記念すべき節目の年でもありました。日頃お世話になっている私達は、関連する様々なイベントやセミナーなどに積極的にご協力させて頂きながら、改めて学び合うことが出来ました。

横浜市建築設計協同組合（YSK）は「横浜を中心に活動する地域の設計者、設計事務所の団体」として昭和57年に組合を設立し、今日まで40年間の設計活動を行って参りました。組合員数33社、80名を超える1級建築士を擁し、意匠、構造設計を中心に、電気、機械設計をYSS（横浜市設備設計）と共に行う総合設計事務所の体制を堅持しております。

横浜市の小中学校500余校の耐震診断、耐震補強設計や2,600件を超える多くの横浜市公共施設の改修改造などの維持保全業務、建物の長寿命化に係わる長期修繕計画や建築基準法12条点検等の業務にも係わって参りました。また市民からのご要望により、住宅設計のコンペを実施して、今までに3件の住宅の設計を実現することが出来ました。



また建築の先進事例の見学会、木材利用促進の講習会や見学会、学校建築を中心とした公共建築の今後の在り方を考える建築セミナー、諸外国や国内の話題となる建築や街づくりの研修会等の技術の研鑽を常に実施しています。顧客満足度や成果品の品質向上に向けてISO9001を活用し、内部監査や見直し会議等を通じて技術と信頼性の向上に取り組んでおります。

更に環境問題への理解を深めSDGsの実現、脱炭素社会に向けての理解を深めるために研修会、セミナー等への積極的な参加を促し、委託事業等を通して積極的な取り組みを行っています。組合員の多くは横浜市建築局優良建築設計者表彰や神奈川建築コンクール優秀賞等での表彰を数多く頂いております。

組合員の高齢化が進み、活力ある若い力を必要としておりますが、豊富な経験と信頼を武器に各事務所の新陳代謝も進みつつあり、若い力が育ちつつあります。さらには、これからの横浜の建築界を魅力あるものにして行きたいと考えております。

創立40周年のお祝いに感謝し、新たな公共建築の創造、維持保全に努めて参ります。次の時代への飛躍と横浜を世界に誇れる美しい街にするという想いを忘れずに活動してまいりますので今後ともよろしくご指導をお願い申し上げます。



40周年記念 建築セミナー

令和4年10月12日（水）、ホテルニューグランド レインボーボールルームにて建築セミナー2022『みなとみらい21 まちづくりと未来への展開』と題して、一般社団法人横浜みなとみらい21理事長坂和伸賢氏の講演が開催されました。

当日は会場で72名にも及ぶ来場者と、Zoomウェビナーによるオンラインとのハイブリッド型で行われました。

みなとみらい21事業の背景からまちづくりの変遷、エリアマネジメントの実践、ミュージックポートYOKOHAMAやアート&ミュージアム群構想、5G等情報基盤の整備といったオープンイノベーションの展開について、写真や動画を交えてご講演頂きました。

みなとみらい21地区に集積する音楽ホール・アリーナの連携による音楽イベントや、小学生向けの夏休み周遊企画としてミュージアム群を巡るデジタルスタンプラリー等、大変興味深い取組みが印象的でした。

横浜の設計事務所集団として、みなとみらい21のまちづくりを考える、大変貴重な時間となりました。どうもありがとうございました。(株式会社川喜田建築設計事務所 川喜田 俊敬)



講師 坂和伸賢氏



組合員から40周年によせて



株式会社エスシー・テクニカ 鈴木 武昭

私は15年ぐらい前に父の後を継いで社長となり、YSKの組合員となりました。YSKの耐震診断は他の社員が長く担当していたため、逆に私はYSK以外の仕事を一手に引き受けていました。そのため、YSKでの活躍の場はもっぱら広報委員会でした。委員長だと思っていた人も多かったと思いますが、実は副委員長でした。委員長だった期間はたったの2年です。その間に30周年記念誌も出しました。早いもので、それから10年経ったわけです。

入会当時は一番若かった私も中堅どころの年齢になりました。後から入った若い組合員の考え方の違いに驚きつつも、自らの成功体験に甘えることなく邁進できれば、と思っております。



有限会社 小倉一級建築士事務所 小倉 宏志

YSK40周年おめでとうございます。平成元年に堀池事務所から横浜に帰って来て、最初にYSKに関わったのは、<YSK情報システム>という委員会でした。矢野設計の矢野武さんや当時若手と言われていたメンバーでYSKのコンピュータ化やIT化の情報交換、情報発信の委員会で、当時はCAD化されていない事務所もあったので現在とはだいぶ違う状況でした。多分、YSKで最初にCADを使って業務を行ったのは5社くらいで仮設教室の標準

図を作成した記憶があります。その頃20代、30代のメンバーも今では当時の所長さん達の年齢になりYSKもICT、DXという時代の変化と共に柔軟に変化していくと思います。これからも組合の仲間と共に研鑽を積み重ね、次の10年を乗り越えていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。



株式会社神奈川建築事務所 鈴木 興

40周年おめでとうございます。私は、昭和61年に入社し、前社長の代理として組合活動への参加を20代から行って来ました。諸先輩方の名前を覚える事、皆様に覚えてもらう事が重要と、賀詞交歓・忘年会時は受付の手伝いを数年にわたり行いました。結果、数多くの方々と親しくなることが出来、多くの経験談を聞かせて頂いた事は、今の私の宝物です。業務では、30年ほど前から公共建築物維持保全中長期修繕計画を策定し、保育園・小中学校・港湾局埠頭施設、市営住宅等の調査・診断・報告書を古屋さん、土屋さんと一緒に行えたのはとても良い経験でした。毎日夜遅くまで打ち合わせを行い、時にはYSKに泊まり込んだ事もあります。建物維持保全に対する基礎を学べました。今後もYSKは、50周年に向けて、各分野の専門家集団でいたいと思います。

株式会社金子設計 稲毛 恒男

留守がちだった金子に代わり、長い間副所長として実務を任されて来ました。

一番最初に担当したYSKの仕事は、戸塚駅東口の再開発事業でした。当時再開発事務所には古森さん藤田さん大学を出たばかりの小林一美さん（後に副市長）がいらっしゃいました。次に担当したのは開港記念会館の改修工事で像設計の白井所長と共に設計監理を担わせて頂きました。その後侯野球場を担当させて頂き、10年ほど前に大手設計事務所4社に加えて地元設計集団で有るYSKが指名され、神奈川県建築コンクールで優秀賞を頂きました。YSK創立40周年は、私にとって瞬く間の40年間でした。





株式会社川喜田建築設計事務所 川喜田 俊敬

YSK 創立 40 周年、誠におめでとうございます。

私は代表に就任してまだ 3 年ですが、この 40 年という長い歴史の中で諸先輩方の多大なるご苦勞、並々ならぬご尽力があったことと思います。

弊社では現在、横浜市の小学校建替えや児童福祉施設等の設計監理業務に携わらせて頂いております。これからの時代をつくってゆく子供たちのために、より良い環境を提案し、豊かな空間を建築することで、微力ながらお力添えさせて頂ければと考えております。また YSK の中では、企画室や教育環境研究会に所属しており、横浜の設計事務所集団として YSK を広く社会にアピールして参りたいと思っております。



協同組合 横浜市設備設計 石渡 順一

設備グループとして YSS が組合員になって 26 年が過ぎました、

その間、平野氏・黒田氏そして、3 代目理事長として私、石渡が 4 期目 7 年目を担っております。その間、組合改革や様々な提案をし、それなりの進化はした手応えを感じますが、少子高齢化・継承問題・組合員増強など中々改善できず、手をこまねいている問題も抱えています。YSS では現在 90 名の設計者がいますが、今後もその増強に力を入れて意匠設計のニーズに対応できる、設備グループを維持していきます。又、YSS では発足当初から化石燃料を大切に・地球環境問題などサステナブルに活動してきました。2050 年にはカーボンニュートラルを地球上で目指しています。

今以上に設備設計の重要性が高まりますが、建築設計でのカーボンニュートラルは意匠設計との連携が重要となりますので、今以上に YSK・YSS の協力体制を強化し盤石にしたいと感じていますので、皆様の協力と助言をお願い致します。



有限会社協和建築設計事務所 児崎 為之

YSK に仲間入りしてから 31 年になります。YSK の業務では学校の改修工事などから、子供たちの教育環境の向上に貢献する仕事ができることに喜びを感じています。以前、孫が通う小学校の改修設計を担当することがありました。現地調査の際に偶然、学校内で孫に会い、孫も大変喜んでくれてとても楽しい思い出が出来ました。私も 80 歳を超えましたが、息子と共に更に頑張っていきたいと思っております。これからも、よろしくお願ひします。

株式会社KR建築研究所 服部 範二

柳田勇（I）、宮崎伸一（S）、服部範二（H）の 3 名は、共に 20 年ほど前に副理事長を歴任した。今だに元気な老人達で、HIS 会と称し、月いち程度の呑み会をやっている。構造グループとして 1987 年頃から主として耐震を行い、特に 1995 年阪神淡路大震災の直後は大量の耐震診断に追われた。

その業務を通して所員の技術は向上したし、YSK の実績も上がり、発注者の信頼も得た。現在は沈静化しているが、その頃を懐かしみながら盃を傾けている。5 年前には 3 人の絵画展も実現してしまった。3 年後は昭和 100 年に当り、柳田・服部は米寿、宮崎は喜寿を超えることになる。それまでは何とか健康を保って、また何かを企てたいと願っている。



元副理事長三人の呑み会



株式会社建光設計 榎山 良久

弊社は昭和55年に開設以来、単に四角い箱が並んでいるような、画一的で冷たい感じのする建築物ではなく、やすらぎを感じさせる、また、自分のまちに誇りが持てるような施設づくりをしています。設計した建物が周囲の環境を変え、その事で近隣に対する視覚的、心理的、物理的等の影響を与えると考えるとき、良い設計の条件の一つとして、建築主だけでなく、近隣の人や地域の人々にも愛されるような建物の設計が大切と思い、設計コンセプトの中に「環境を大切に、心の通った設計」を心掛けています。おかげさまで、神奈川建築コンクール（第28回）にて、金沢シーサイドタウンパークハイツ（延床面積 19,173 m²）は最優秀賞を受賞できました。

これまでは民間の作品が多く、これから、官庁関係の作品も手掛けたらと思っています。



株式会社コア建築設計工房 須永 信一

YSK40周年おめでとうございます。

私どもは YSK に入会させていただき35年になります。建設会社の設計部で過ごしてきた私にとり、公共工事等の設計に不慣れでありましたので、YSK に入会し、親しい良き仲間も多くでき、又、公共工事の設計の情報を共有させていただき、非常に助かりました。受託委員の時、沖縄、広島、滋賀県の設計協同組合への研修、交流に訪れたこと、又、YSK の年に1度の研修旅行は有意義でした。とりわけ、カンボジア+ベトナム、シンガポール、伊勢神宮+熊野への研修は印象に残っています。今、YSK は優秀な若手の方々が育ち、次の50周年はより素晴らしい設計集団になっていると思います。期待しています。



株式会社三和設計 小野 哲広

私が初めて横浜市建築設計協同組合と関わったのは、横浜市立学校の耐震診断でした。平成元年頃だったかと思います。当時は、耐震診断の認知度が低く、補強工事に於いては、外壁改修工事として行われ、不安を与えないよう、補強部材の鉄骨ブレースを隠すという事に疑問を感じたことを覚えています。これまでの経験を活かし、組合活動に微力ながらも貢献できればと考えています。どうぞよろしくお願ひ致します。



株式会社シグマ建築企画 杉原 健司

創立40周年、おめでとうございます。

弊社先代の磯城が残した資料やメモ書きから、YSK 創立の頃の設計業界が活気に満ち溢れていたことが分かります。そしてその時代に、先代が寝る時間も惜しんで仕事に没頭していたこと、その時間を楽しんでいたこと、設計することが大好きだったことが伝わってきます。

時が経った今、IT化により図面の描き方も激変しました。色々な制約も増え、引出しの奥には鉛筆や定規と一緒にその頃の大切な何かもしまい込まれてしまったように感じます。先代が深く関わらせていただいた YSK で、私自身も設計をすることがただ好きだった自分を思い出し、楽しみながら成長していきたいと思っています。



株式会社詢工房 石塚 治

横浜市建築設計共同組合40周年おめでとうございます。昭和56年創和設計が解散してから、創和設計を先に退社していた宮下氏と二宮、石塚が加わり、3人で詢工房をはじめました。私が創和で設計担当していた本郷養護学校の監理を横浜市から委託を受けました。近隣対応が大変でした。今では考えられない出来事です。創和設計に在籍していたフリーの仲間を集め監理を行ったのを懐かしく思い出しました。創和設計が解散して、すぐに横浜市建築設計協同組合（YSK）ができました。組合ができてから数年後に2社の推薦をもらい、詢工房はYSKに入会しました。はっきりわけたわけではありませんが、宮下が組合担当で、私と二宮が民間担当でした。その後、二宮が独立し、しばらくして急に亡くなり、数年後、宮下は山梨（韮崎）に転居しました。民間の仕事を年に2、3回出していたいた工務店の社長がなくなり、仕事が少なくなりました。いろんなことがありました。今思えば、1人になった私が、事務所をたたまずに済んだのはYSKのおかげかもしれません。当初組合はいろいろ（テニス、フットサル、研究会、囲碁、絵画等）活動が盛んでした。今はみんなおとなしく、活発な活動がなされていないように思います。年齢のせいなのか？世の中が変わったのかわからないが、組合はもっと楽しくありたい。コロナのせいかもしれないが、大変遺憾に思います。絵画同好会は皆さまのおかげで活動しています。若い人の入会を待っています。設計事務所間の繋がりはYSKがあるからできているのだと思います。又、なくてはならない組合協力会員のみんなが参加できるイベントをもっとやっていきましょう。以前やったような研修旅行も復活したいですね。コロナに負けるな！若手の活躍を期待しています。



株式会社J O 建築企画設計 河合 利紀

ホルダー芯の削り方から学び、袖口を真っ黒に。滴る汗を気にしながら、サインなくともわかる図面。後のCAD化の波に、四苦八苦。まさに今昔物語。生活の根幹と言われる衣食住の一翼を担える幸せを感じつつ。現代の衣食住プラス医療、通信の衣食住医通の進歩の中で一層のDX化に対応すべく日々、未だ学習。古きカメラの新機能開発CM、残すは人間の感性のみ。サーフィンの如く、巨大DXビッグウェーブを乗り越え。スキューバの如く、より一層感性研ぎ澄まし、より深みへ。今後一層のYSK発展の末席に在席できれば幸いです。創立40周年お喜び申し上げます。



株式会社白川設計 白川 幹

YSK40周年、おめでとうございます。40周年ということで社内に保管されているYSK関係の資料をひも解いてみると、当社がYSKに加盟させて頂いたのは平成元年のこと、33年前ということが解りました。当時の設計委託契約の一覧を眺めると全てが民間の仕事だったようで、公共建築の仕事の「いろは」をYSKの皆様へ1つ1つ教わりながらの仕事ぶりだったのではないかと想像することができ、当社の今があるのはYSKに育てて頂いたおかげであるとYSKとの繋がりに感謝し、これからも大切にしなければならぬものだと感じます。これからもYSKが横浜の設計事務所業界をリードしていく存在として、変わらずに持ち続けなければならない組織力とともに、時代の流れに従って変化していかなければならないことへの柔軟性ある組織として、一組合員として協力して行ければ幸いです。



株式会社須山設計 稲葉 晃宏

新入社員として入社以来、およそ30年が経ちますが、YSKにはそれと同じくお世話になっています。右も左も判らない未熟者が、徒弟制度の色濃い先輩に聞きづらい雰囲気や、YSKに所蔵している標準図や標準内訳書を、事あるたびにコピーしたり、判らないなりに必死で読み込んだ頃を懐かしく思います。

今後はICTやDXが活用され、人材育成や情報交換も効率良く済んでしまう事も多くなるかと思いますが、彷徨う設計事務所の拠り所として、今まで以上にYSKという場所が頼りになるように、貢献していきたいと思っています。

株式会社創英設計 圓谷 英夫

シンガポール、タイ研修旅行 2012年10月

海外研修組合参加以来多くの国に参加しましたが紙面の関係で二国の研修記録とします。

シンガポールではまずマーライオンに挨拶、宿泊はマリーナベイサンズに宿泊、屋上に有る空に浮かんだ広大なプールを見学、ベイサンズ周辺の夜景がとてもきれいで、街中街路に誰もが否応にも目に入る無料の舞台で独特の意匠で踊る男女10数人を見ることが出来感激、近くの飲み屋で即飲み会氣勢を上げ、更にタイに向かいアユタヤ遺跡群にバンパイン宮殿、その他独特の造形美の寺院、独特な建物を堪能する研修と成りました



株式会社像建築設計事務所 臼井 洋司

建築学科を卒業し入社した設計事務所です。10年間、夢中で国内各地の設計監理に携わった。独立後、数年して故郷の横浜に設計事務所を開設、住宅など民間施設設計に携わるうちに公共施設も手掛けてはどうかと YSK 前身の設計協会を紹介された。まもなく協同組合になるが、怖い大先輩たちに揉まれ新たな分野の設計を学んでいった。君の順番はまだまだ先だ、と理解しがたい言われ方で、設計界の現実と直面もした。40年経ち世代は変わっていく、気が付くと自分が当時からの所長の唯一の生き残りになっている。よちよち歩きから大切な人々に出会い、教育、福祉、工場群や街づくりなど様々な仕事をさせていただいた。YSK に感謝している日々、もう少しこの世界で、と祈る。

株式会社田辺設計 田島 文男

YSK40周年おめでとうございます。私が YSK に最初の関わった業務は、横浜市小中学校 95 型標準図作成業務でした。組合員数社が集まりグループ分けをし、各室単位基準をベースに、市と打合せを重ねて標準図を作成しました。各組合員の学校のノウハウを集積しての共同作業はとても新鮮で初めての経験でした。現在の YSK は、保全公社の業務が 9 割近くをしめ、横浜市施設の保全改修をメインに設計活動を進めております。保全改修業務の今後の課題は、脱炭素、省エネ等を考慮した「提案型設計」に取り組み、それを組合員が共有し YSK の活性化をはかることであると思います。また、次の 50 年に向け YSK の「存在意義」を再認識し業務に取り組んでいきたいと思ひます。



株式会社田設計室 本田 真

YSK の 10 周年の年に組合に加入しましたので、組合加入 30 年になります。先代から事務所（中西設計）を引継いだ時、それを機に加入しました。そのおかげで事務所が存続できたのだと改めて思い、感謝しております。今回、10 周年当時の組合員の顔写真を見て、懐かしと今更ながらですが、組合の事業継承が頭に浮んできました・・・。

業務以外の思い出としては、アンコール・ワットの見学、横浜スタジアムでのサッカー大会など思い出されます。これからの YSK が更に発展するように次世代の組合員と若手所員の奮闘を期待します。「継続は力なり」。



株式会社ナトリ建築設計事務所 名取 邦亨

YSK40周年おめでとうございます。

この歴史に唯々感嘆の思いです。私が横浜で事務所を開いて未だ37年ですから、会員の皆様が既に公共建築物の設計に高い知識と技能を傾注されていたことは尊敬の念に堪えません。学び舎に集う児童・生徒や市民に、会員が相互に見識を高め合いながら優れた環境の提案をされる組合活動は素晴らしいと感じています。記念の時節に入会の機会を得たことに感謝して精進していく所存です。



株式会社野口建築設計事務所 野口 富美子

阪神淡路大震災の翌年に、子育てなどで実務から離れていた生活から、突然毎日事務所に出勤する生活になりました。最初は民間の施設や住宅などに関わっていましたが、その後代表が二人体制から私一人になり、YSKの事業や業務に具体的に参加させていただくことになりました。当初は学校を始め、公共施設の設計のこと等よくわからず、所内ではチーフにおんぶに抱っこ、YSKでは諸先輩の温かいご配慮を受けて、続けてまいることができました。皆様に感謝しています。今後は

次の世代に引き渡すべく、もう少し頑張りますのでよろしくお願いいたします。



株式会社バク建築設計事務所 小村 裕志

横浜市建築設計協同組合40周年、おめでとうございます。ひとつの組織が40周年を迎えるということはこの組織に携わった先輩方のご努力と並々なる情熱の賜物だと思います。また発注者である横浜市建築局様、横浜市建築保全公社様、横浜市住宅供給公社様ほか、たくさんの方に囲まれ、お仕事をさせて頂いているという事をしっかり心に刻み、皆様方に感謝しながらこれからも日々精進して参りたいと思っております。先輩方への感謝とそのご努力に敬意を表し、またこの先もYSKが引き続き組織として営々と続くためのご指導とご鞭撻をお願いするとともに、速やかに次の世代への引継ぎがなされることを我々世代が肝に銘じて毎日の業務に取り組んでいくことがこれまでの先輩方への恩返しになると考え、しっかり努力していきたいと思っております。

これからも50周年、60周年と末長く皆様に愛される組織になりますよう、組合員一同新たな気持で毎日の業務をこなしてまいりたいと思っております。また、これまで以上に皆様方にはお世話になるかと思いますが、これからも変わらぬお付き合いを賜りますよう心よりお願い申し上げます。



株式会社ファレ建築設計 石川 禎

組合に加盟したのが平成26年。スキルを磨いて公共建築に深く関わりたいと思ったのがきっかけでした。実務的な面では色々な意味でハードですが、勉強になることも多く、研修や見学などのイベントを通じて蓄積した知識が他の業務にも大いに役立っています。加盟した当時の組合員は皆年上のベテラン揃いで、「果たしてこんなメンバーの中でやっていけるのだろうか?」と思っていましたが、8年経った今では世代交代が進み、自分と同世代や下の世代が増えてくるようになって心強く

思います。今後も組合の仲間とともに末永く歩んで行ければと思います。



有限会社元塚設計 元塚 隆洋

YSKの仕事や公共建築の設計を始めて4年ほど経ちました。以前は主に民間の小規模の木造建築の設計をしていましたので設計の内容・スピード感・ボリュームが全く違い、同じ建築の設計でも幅が広いものだと感じています。前職までの経験が活かせることは少ないですが、日々新しいことの連続でしたので設計の知識や経験が確実に向上していることを実感しています。50才目前で一から始めている状態なので苦勞も多いですが、常に目の前の問題を提起・解決するという設計の仕事は大変ではありますが面白くやりがいがありますので、YSKをはじめ関係する皆様に貢献できるようにこれからも取り組んでいきたいと思ひます。

有限会社保川総合設計事務所 保川 周治



カルフォルニア モンダビワイナリーにて

想いは遙かさかのぼり、故金子富夫先生のご推薦を頂きYSKへの入会審査にのぞみ、昭和63年5月9日「組合員加入決定通知書」を頂きました。長い間お世話になった株式会社金子建築設計事務所を退職し8年の年月が流れていました。

この間、先輩方のお手伝いをさせて頂きながら研鑽を重ね、ああ、やっとこれで少し恩返しが出来た・・そしてお仲間の裾に入れたと、とてもホッとしました。

YSKの仕事ではなんと言っても構造グループの方々と小・中学校耐震補強設計、教育委員会を巻き込んだ新しい小・中学校校舎改修、そして故大貫浩さんとの保全公社業務幹事会活動が私の大きな宝であると思ひます。



株式会社柳田建築設計 横溝 厚

YSKの業務には阪神淡路大震災のあった平成7年から27年ごろまで、公共施設の耐震診断・補強設計及び監理を担当させて頂きました。その間の貴重な経験によって今日の自分があると感謝しています。

耐震評定委員会では、学識経験者の方々など大勢の関係者の前で説明を行い、当時、人前で喋る機会の少なかった構造担当者にとって、良い訓練の場となりました。学校耐震では、事務所間の情報交換を密に行い、一致団結して業務にあたりまし

た。これは組合ならではの強みであり、かけがえのないものです。

これからもこの強みを生かしたYSKであり続けることを切に願ひます。

株式会社山田建築設計事務所 押村 明弘



私がこの業界に入った 35 年前は、緩いながらも右肩上がりの経済状況の中、設計を含む建設業界の選択肢も今よりは多く、転職や職種替えを前提に軽いノリで就職を決めた記憶があります。そんな私がこんなにも長きに渡り、設計業を続けて来られたのは、ひとえに周囲の方々に助けられ、支えられてきた事にあります。そのような事から、これから先は少しでもその恩恵を、社会や人に何らかの形として貢献できればと考えています。写真はこんな一面という事で、地元の小学校で交通安全教室のお手伝いしている私です。(笑)



株式会社ユー・アール・ユー 小澤 勝美

あれから40年。昭和57年(1982年)当時は28歳。創和設計から引き継いだ野毛の再開発、ちえるる野毛の竣工に向けての監理業務や昭和60年完成の元町の街路整備の調査や基本計画、基本設計に携わり超多忙な日々でした。

現在では先日、「横浜市公共施設等総合管理計画(素案)」が発表され、公共建築物約2,300施設、延べ860万㎡の施設の多目的化、複合化、集約化を図り、サービス水準を向上させながら、且つ長寿命化を図り、保全更新コストの適正化を図るというものです。これに貢献しましょう。開港の歴史にまつわるもの、港、はじめて物語、近代歴史的建造物、港と丘の景観。都市を第二の森林にという木材利用促進をはじめ、運河の活用や工事費の1%を文化に等も題材にあげ、新たな創出と活用が求められると思います。



横浜構造設計株式会社 宮田 和浩

入社した年からYSK業務の耐力度調査に関わり、昭和62年から精密3次診断、耐震補強、簡易3次診断が始まりました。勉強会や打合せを何度か行い、計算ソフトとしてNTTのDEMOSというソフトを使った電話回線での計算でした。その成果として平成4年の日本建築学会新潟大会でYSKが発表を行いました。そして、平成7年の阪神淡路大震災以降に学校校舎、体育館、市営住宅、公共建物等の耐震診断、耐震補強を担当しました。平成8年からはYSK耐震評定委員会が始まり、現在では、横浜耐震判定

委員会となりまして、学識経験者の方々に審査して頂き、組合の方々からも助言を頂いて補強方法を検討し設計しております。私としてはYSKと共に歩んできた思いです。



株式会社横浜設計事務所 土屋 三喜雄

横浜で生まれ育った私は、1964年当社(1951年創立)に入社し在籍58年、1997年前所長に代わり、YSKの関りも25年になります。この間、様々な委員会を経て副理事長の役を6期にない、今思うと色々な人との出会でYSKに育てられた思いがあります。今年、在位70年英国のエリザベス女王が御逝去されたニュースを聞き、戴冠式に天皇陛下の名代とし皇太子様(現上皇様)が横浜港から渡英する際、山下公園沿道で国旗を振り、港の見える公園で平線に消えゆくプレジデント・ウィルソン号を見送った

ことが幼い頃の思い出のひとつです。YSK40周年を迎え、当社の伝統「一意専心設計・監理」を信念に連帯と和を大切に前進してまいります。



有限会社吉岡設計 吉岡 徹

当社は1978年に創業し、1988年にYSKに加入し構造グループの一員として組合業務に携わって参りました。私自身は阪神淡路大震災直後の1995年4月に入社し、2012年から代表を務めています。入社当初は大震災直後とあってYSKには横浜市から膨大な数の耐震診断・耐震補強業務を受注し多忙を極めました。現在はそれら耐震補強を行った学校も耐用年数を迎え建替えへとシフトしている状況で構造関連業務も一段落していますが、一組合員としてこれからもYSKの業務に貢献し

て参りたいと思います。



株式会社渡辺建築設計事務所 渡邊 吉郎

私が先代より所長を引き継ぎ早13年が経ちました。幸いにも今も先代時から熟練された所員が多数在籍していて活躍してくれています。また組合創設当時の事務所でありYSKと共に、この横浜で生きて来たと考えても良いのだろうと思っています。建築技術の発展の中、当事務所の課題としては、BIMのソフト導入に依った技術者の育成です。案件プロポーザルではBIMを使って設計実務を行いますと提案書に謳ったものの操作に困惑しているのが現状です。YSK40周年を迎えこれからも更に技術の情報交換や組合員どうしの交流が和気あいあいと行われます様に願います。



横浜市建築設計協同組合 事務局長 専務理事 松島 宏充

「人が育つということ」

保育士として働いていた時、園児たちのなんと成長の早いこと、語彙は日々増えていく、遊びを含めてやれることが、どんどん増えてお互いが刺激し合って育っていく姿を見てきた。

「建築家・建築屋はどう成長していくのか、「達成感」を味わい、「遣り甲斐」を見いだすことが重要であろう。仕事の大小や困難さもあるが、一つの新築・修繕でも自分が中心となり関係する人たちの英知を結集し完成させること。育てられる側の姿勢は前向きであることが前提であるが、人それぞれの個性を認め人格を尊重し育てる。組織にとって必要な人材となるよう全力で育てる・技術的にも人としても成長させること・出し惜しみをしないで相手が動きやすいように援助する・転ばぬ先の杖を TPO に合わせて出す・相手の良いところを伸ばしけなすのではなく、「人は褒めて育てる」。

新組合員紹介

株式会社ナトリ建築設計事務所

代表取締役 名取 邦亨



今年度春の総会にて入会を承認いただきました。横浜市設計協同組合のメンバーの方々とは横浜市さんの施設設計活動を通して面識を頂いていましたが、この度皆様と共に学びの場を頂いたことに、緊張感を持ちながら励んでいく所存です。私どもの事務所は事業継承の途中にあります、所員一丸となって組合活動に貢献をしたい所存です。どうぞよろしくお願い致します。

横浜市建築局優良建築設計者表彰

地域貢献を理念に掲げる当組合から、今年度も多数の受賞者が選定されました。優れた技術と想像力を発揮し、素晴らしい公共建築を地域へ提供された受賞物件を御紹介します。

新築・増築部門 最優秀賞

株式会社 金子設計 稲毛 恒男

義務教育学校緑園学園

緑園学園は、緑園東小学校敷地と隣接する学校予定地をあわせ、既存校舎を活用しながら新たに校舎棟、アリーナ棟、プール棟を増築した横浜市では初めての施設一体型の義務教育学校です。地域性を取り込み、地域の顔となる校舎計画地の緑園地区の街区は均一に区画整理され、直線的な通りが多く、計画地周辺の主要な道にはイチョウ並木が整備され、魅力的な街並みを形成しています。本計画はこのような地域性から、敷地内に街の軸線を引き込むことで、地域の街並みと調和を図ると共に、軸に沿って建物を配置し、敷地内に「通り」を形成しました。この「通り」が義務教育学校の利点の一つとされる、日常的な異学年交流の場を創出すると共に学校利用者の多様な動線が結びつく主動線でありながら日常的な利用や多様な体験を通じて、子どもたちの記憶に残るような学校を目指しました。校舎棟は、約5メートルの敷地高低差を利用し、3階建ての既存校舎の高さに合せた4階建てとしています。また、既存校舎の2・3階と渡り廊下で接続し、校舎全体で回遊性のある計画としています。

プール棟は、可動屋根を設けることにより、天候に左右されないほか、利用期間を通常より長く確保することが可能となります。また、横浜市立で初めて昇降式可動床を採用し、全学年に対応できるプールとして整備しました。

アリーナ棟は、全校生徒が入れる規模とし、空調を完備しました。併設した武道場には、交流広場に面して大きな開口部を設け、武道場を舞台として交流広場と一体的な活用が可能です。交流広場には人工芝を張り、低学年の日常的な遊び場として整備しました。

学校全体の中心に位置する既存校舎の中庭に屋根を設け、1階にメディアセンターを増築し、2階にランチルーム、3階に特別教室を配置しました。

学校全体が回遊性のあるのびやかな学校として計画しました。児童・生徒が、それぞれの居場所を見つけ、学園内で生き生きと活動することを願っております。



新築・増築部門 優秀賞

株式会社 K R 建築研究所 服部 健太郎

六ツ川中学校武道場

六ツ川中学校の武道場の新築工事です。

木造平屋とすることで建物を軽量化し、杭をなくすことでコストダウンを図りました。また、延焼線の発生しない建物配置とすることでサッシは高額な防火設備をなくしコストダウンを図りました。平面計画はシンプルな長方形とすることで外壁面積を極力削減し、同一形状のキングポストトラスを連続させることで武道場の大きさに必要な13.65mスパンを確保しました。

平面計画・構造をシンプルにすることでコストを抑え、構造材と床のフローリング、家具は国産材を活用することが出来ました。建築基準法施工令第114条第3項の小屋裏の界壁は、内装仕上げを難燃シナ合板とすることで界壁の無いすっきりとした空間にしました。天井に沿った梁をなくすことで、あらかし梁の見付面積は天井面積の1/10以下とする内装制限も余裕をもってクリアできました。2本1セットのトラス梁の間を照明器具と配線のスペースとすることで意匠・構造・設備が一体となった合理的な設計としました。ウッドショックの影響で木材の供給が安定しない中、設計当初の県産材は入手できませんでしたが、早めの調達を心掛けたことで国産材を採用することが出来ました。また設計で指定した樹種・強度が入手できない木材もありましたが、施工者および製材・プレカット会社と密に連絡を取り合うことで迅速に変更対応することができ、無事に工期内に完成することが出来ました。



改修部門 優秀賞

株式会社 渡辺建築設計事務所 渡辺 吉郎

横浜市西部児童相談所

既存施設は、現西部児童相談所と旧看護学校が同じ施設に共存しながら、地下1階では繋がっていましたが、地上階においては往来ができない別建物となっていました。横浜駅前の地下街と地上階の建物との関係に似ています。

旧看護学校の移転に伴い、空室となった学校施設を児童相談所に用途変更することで既存施設の有効活用を図り且つコスト縮減を実現できたと考えます。

現西部児童相談所を運営しながらの移転改修工事となることから運營業務の中断、現有機能を損なわない計画が必要となります。

また、法規上増築ができない施設となっています。

このような条件下で計画を行うにあたり、まず地上レベルでの往来の可能性について検証が必要となりました。

計画する上で要所要所に存在する既存の耐震壁が立ちはだかりました。耐震壁の機能を確保しながら再構築の可能性について建築指導課と協議を重ね、検討書の提出等により了承を頂くことができ無事スタートを切ることができました。

これにより、ゾーニングの明確化、平面計画上空間の有効利用が図れることになりました。

また、既存の電気室が地下にあり、隣接する帷子川からの浸水の影響等に配慮し、災害時にあっても継続的な施設運営が可能となるようメインの受変電設備を地上階である5階に設置する対応としました。



改修部門 優秀賞

株式会社 ナトリ建築設計事務所 名取 邦亨

権太坂小学校体育館

体育館の大規模改修に合わせて空気調和設備の新設を行う工事なので、学校活動における熱中症による被害の軽減や、環境改善を最優先事項として計画を進めました。また、同時に建築物省エネ法も制定され、社会的にエネルギー消費性能の向上が喫緊の課題として求められていることから、単純に機械による空調コントロールだけではなく、建物外皮の断熱性能を向上させるような計画としました。具体的には屋根材の葺き替えに合わせて断熱材を敷設したり、屋根頂部に換気棟を設けることで、空調効率の向上を図っています。省エネルギー化を進めることは施設の長寿命化にも繋がり、ひいてはサステナブルな学校運営と児童にとって地球環境への意識付けの契機になると考えます。空調室内機の設置場所については、基本設計段階より既存建物の現地調査を行い、担当監督員及び関係者と協議を重ねたうえで、既存躯体への負荷が少なく最も効率的に設備配管工事が行えることから、キャットウォーク上に床置型を設置する計画としました。キャットウォーク下に設置するよりも対象空調体積は増えますが、不足の無い能力の空調機器選定やバランスの良い平面配置とすることで、空調設備による効率的な室内環境の向上を計画しました。工事完了後には、校長先生のご厚意により体育館竣工記念式典にご招待いただき、全校児童に向けて省エネルギーと建物に関わる話をする機会を賜りました。折しも高学年ではSDGsに関する授業に取り組んでいるところで、身近な場所にも地球環境を意識するきっかけがあるということを伝えられたのではと思います。このような機会を頂けたこと、また本プロジェクトに関わられたことについて、学校関係者や工事関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。



設備部門 優秀賞

株式会社日本環境設計 加藤 善次郎

磯子スポーツセンター体育室空調設備

近年、地球温暖化による影響で夏の気温は年々上がっており、スポーツ競技における熱中症対策は急務となっています。本設計は磯子スポーツセンター体育室を利用する方々の健康を最優先とし、室内環境を改善することを目的としています。

本設計におけるコンセプトは

- 1.卓球やバドミントン競技は風の影響を受けやすいため、風の影響が少ない空調機を採用する。
- 2.競技エリアを狭くすることの無いように空調機の設置スペースを確保する。
- 3.体育館という大空間を効率よく空調できる方式とする。

としました。

「コンセプト1」については「除湿型放射冷暖房機」を採用することとしました。

「除湿型放射冷暖房機」は除湿及び輻射熱を利用し冷暖房を行い、他の空調機と違い風が一切出ないため、卓球やバドミントン等の風に影響を受けやすい競技を行う施設にとって有効な空調機と考えられます。「コンセプト2」については限られたスペースではありましたが、その中で既設の内壁に埋込むように設置することにより、競技エリアを狭くすることなく空調機を配置しました。「コンセプト3」については空調をコントロールするエリアは居住域空間(床面+3.0m)としています。冷気は下に流れるという空気特性を活かし、利用者が活動する居住域空間のみを空調対象としました。体育室のような大空間を全体空調すると、上記方式と比べ約2倍以上の空調能力が必要となるため、その分のコスト低減や省エネを実現できました。今後、利用者の方々には夏場でも快適にスポーツ競技ができる体育館として、磯子スポーツセンターを積極的にご利用いただければ幸いです。



神奈川建築コンクール

優秀賞

児童養護施設 子どもの園

株式会社 金子設計



YSK研修旅行

コロナの影響により開催されなかった研修会が3年ぶりに11/4(金)～11/5(土)に実施されました。今回は箱根近辺の名建物探訪ということで期待感をもって臨みました。

11/4(1日目)

晴天のなか総勢22名、バス1台で桜木町を出発、高速で渋滞にあい予定時間より30分遅れで松永記念館に到着。今日初の見学場所で老櫓荘、茶室、庭園等見所満載でした。周辺の板橋界限もみるところが多くあり、いろいろと再訪してみたい場所でした。予定より少し遅れ、お昼を過ぎてしまい、鈴廣風祭店にて昼食を摂り、御殿場の東山旧岸邸に向かいました。車中から紅葉を見ながらの移動で、吉田五十八設計の旧岸邸に到着。首相を務めた岸信介の自邸として1969(昭和44)年に建てられたもので繊細のデザインが随所に見られ、建築美を実感しました。また敷地に隣接している内藤廣設計による和菓子で有名な「とらや」の工房を見学、湾曲した建物は自然と融合しており、散策



路の竹林が印象に残りました。このあたりで日が暮れ始めて、一路宿泊先へ走りました。日が暮れて「プリンスホテル芦ノ湖」に到着。村野藤吾晩年の作のホテルにじっくり触れられました。

11/5(2日目)

今日も良い天気です。朝食は和、洋に分かれて芦ノ湖が眺望できる1階のレストランでとりました。ホテル出発、途中仙石原すすき草原でバスを降り、見ごろのススキを堪能しました。ポーラ美術館は開館20周年。箱根の森にとけこんでいる建築で、ここならではのコンセプトを体感して、ピカソ展を鑑賞、建物の外周を散策し、彫刻等を見学しました。

昼食は宮ノ下の富士屋ホテル(菊華荘)で味わいました。純日本建築で庭園を臨みながらの食事は格別で、食後庭園散策、ホテルロビー(ミュージアム)を見学して最終見学地へ移動。御殿場虎屋菓寮(内藤廣設計)へと足を運びました。こちらで土産を買い、帰途となりました。高速の渋滞もなく走り、行程通り桜木町に到着しました。2日共天気に恵まれ、いい建築を体感し、紅葉が始まった箱根を満喫した有意義な研修会となりました。
(株式会社田設計室 本田 真)



仙石原すすき草原にて



ザ・プリンス箱根芦ノ湖前にて

教育環境研究会

瀬戸内方面研修旅行

12月2日、3日に教育環境研究会員8名にて瀬戸内方面へ研修旅行に行きまして。一日目。岡山駅に朝10時集合。瀬戸内海を渡り谷口吉生氏設計の2つの美術館を見学しました。東山魁夷せとうち美術館は建物、空間の見せ方や展開が素晴らしかったです。猪熊弦一郎現代美術館は街の中の建物の在り方、空間の繋がりを感じました。



東山魁夷せとうち美術館



大三島 憩の家

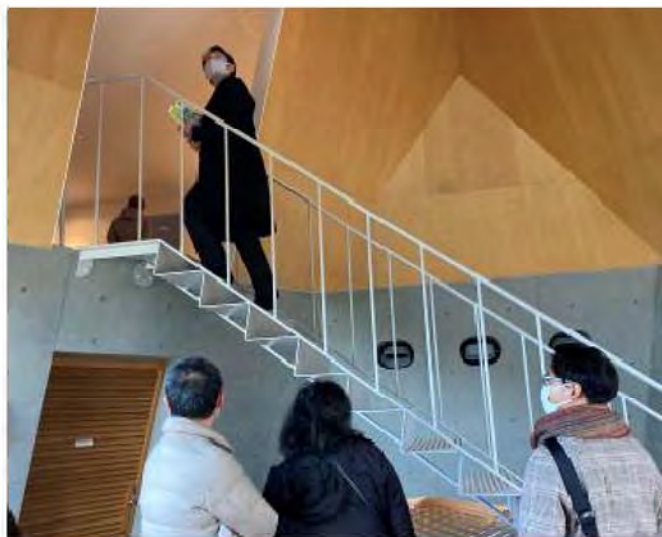
宿泊は廃校となった小学校(開校は明治11年)をホテルに改装した「大三島憩の家」。伊東建築塾と地元の人々により宿泊施設として生まれ変わった小さな木造の校舎は温かみのある建物でした。教室(ベッドルーム)を出ると、開放廊下を介して直ぐに校庭です。校庭の直ぐ先には瀬戸内海が広がります。

二日目。午前中は伊東豊雄氏設計の2つの美術館を見学。「岩田健母と子のミュージアム」は屋根の無い円形の壁に囲まれた空間です。白い壁に囲まれて青空の下、沢山の母子の彫刻たちが緑の芝生の上に美しく展示されていました。

伊東豊雄建築ミュージアムは多面体で構成された建物で、展示スペースには小学生たちの夢のある住宅計画が数多く貼られており、その自由な発想と想像力にしばし見入ってしまいました。

その後の尾道では「ONOMICHI U2」、「LOG」を見学。前者は倉庫を商業施設とホテルに、後者はインドの建築集団「スタジオ・ムンバイ」が手掛けた、アパートをコミュニティー施設+飲食店+ホテルへコンバージョンした建物です。独特な落ち着きと風合いのある魅力的な空間でした。最後に「神勝寺・禅と庭のミュージアム」で瞑想し、岡山駅に戻り解散。様々な建物に触れ、大変充実した研修旅行でした。

(株式会社バク建築設計事務所 川住 公一)



伊東豊雄建築ミュージアム内部

東京音楽大学



所在地：東京都目黒区上目黒
敷地面積：8,538㎡
延床面積：17,719㎡
構造規模：RC造 B1F、3F(高さ16.95m)
設計：日建設計・戸田建設一級建築士事務所

春になると、お花見で賑わいをみせる中目黒の川沿いに建設された「東京音楽大学」を見学しました。

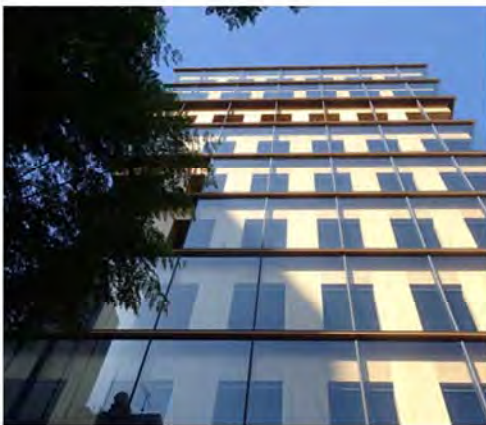
最初に目に映る外壁の杉板本実化粧打ち放しコンクリートの美しさに心がワクワクします。また、敷地の中ほどに、中目黒と代官山を繋ぐ「音楽の道」を設け、一般の人に開放して、大学と街の距離感を縮め、賑わいを演出しています。

音楽を学ぶ環境として、約80のレッスン室・約60の練習室・大中小合わせて22の教室・レコーディングスタジオ・音楽ホール等で構成され、各部屋の音響空間は緻密に設計されています。特にレッスン室は、3種類の孔のサイズ・ピッチを変えた種類のボードで全周波数をバランスよく吸音し細やかな音響空間が実現出来る壁パネルを設けている。また様々な音楽空間を繋ぐパブリックスペースとしてのラウンジ・カフェ・レストラン等は外部の豊かな緑を取り込み、様々なコミュニケーションが誘発出来るように工夫されています。

施工面では、エントランス正面の高さ12mの壁面を杉板本実化粧打ち放しコンクリートとし、鉄筋量を増やし膨張剤を使用して誘発目地を無くし、美しい壁面を実現させています。設計者のこだわりを施工者の技術力でカバーし、執念さえも感じます。全体的に細部までのディテールのこだわりにより、建物全体に統一感が感じられ、心地よい空間に包まれた建物となっています。

(株式会社田辺設計 田島 文男)

大林組研修施設「Port Plus」



所在地：神奈川県横浜市中区
敷地面積：563.28㎡
延床面積：3,502.87㎡
構造規模：木造 B1F、11F(高さ44m)
設計施工：株式会社 大林組

日本初の高層純木造耐火建築物である大林組の研修施設「Port Plus」を見学しました。

まず外観ですが、カーテンウォール越しに純木造の構造体がファサードを構成しており、木造建築であることを主張しています。

最初に9階のセミナールームにご案内いただき、大林組の森様からPort Plusの概要について動画やスライドを交えてご説明いただきました。「これからの知を育む場」というコンセプトのもと、剛接合仕口ユニットの開発、オメガウッドという耐火特許技術の取得など、大林組の木造技術を結晶して造られています。構造体を純木造にすることで、1,990㎡という木質化とは比較にならない木材を使用することができ、循環型社会の形成に寄与しています。ただ、施工中の降雨対策やカーテンウォール支持方法の検討など、純木造ならではの課題があったこともご説明いただきました。

その後、8階から2階まで全フロアのご説明をいただきながら降りて行きました。8階リラクゼーションルームは、天井緑化や面床吹出し空調など、利用者の五感を刺激しながら快適に過ごせる工夫が施されていました。

夫が施されていました。

各フロアには大型タッチパネルが設置されており、空調やブラインド制御のほか、発電量やトイレ・EV等の使用状況を見える化できる最新設備が搭載されていました。(株式会社田辺設計 風呂迫 泰寛)

地球環境研究会

異常気象の続く中、ここ数年大雨等による自然災害が起きています。地球環境研究会は自然エネルギー（太陽光、風力、水力、火力、地熱、バイオマス）の取組みの現状と将来展望を考えるため毎年各地に研修しています。昨年は福島県南相馬で福島天然ガス発電所や浪江町と3.11のその後など復興に向けた地域の研修でしたが、今年は木質系建物の岡山県真庭市の銘建工業と「グリーンナブル蒜山」（隈研吾氏作）の見学研修をしてきました。

研修日程は10月21、22日の金曜土曜で、新横浜駅に8:15集合で岡山11:30着、昼食後レンタカーにて80km移動で13:30に銘建工業さんに着きました。

銘建工業さんについては、以前も岡山研修の際に工場の見学をさせて頂きましたが、その後バイオマス、本社ビルの建設など、さらに大きくなった印象がありました。主な業務内容としては皆様ご存じの集成材、CLTなど大断面木造を手掛けています。本社ビルで会社事業の内容説明と大断面木造の建物を見学させて頂き、その後工場へ移動してCLTの製作工程を見学させて頂きました。大断面の木造の計画がある際には、銘建工業さんにご相談をして頂ければと思います。そこから、北に78km移動して、鳥取県米子市皆生温泉で宿泊し、参加メンバー8名（小澤、圓谷、小栗、石塚、池谷、小倉、宮田、小材 敬称略）の懇親を深めました。

翌日、ホテルを8:15に出発して、せっかくなので、ちらっと日本海を望み、約42km移動して9:15にグリーンナブル蒜山到着しました。一時間ほど見学をして、出発約38km移動して昨日の真庭市に戻り、町並み保存地区で昼食を頂き再び80km移動で岡山駅へ戻り15:33発のぞみにて無事新横浜駅に18:34到着解散となりました。

1泊2日の研修旅行でしたが、今回はまた2泊3日の時間にゆとりのある日程で参加させて頂ければと思います。今回、お天気にも恵まれ、全国旅割の恩恵も受けられました。幹事の小材様、本当にありがとうございました。真庭市の「写真で観る真庭」のQRコードを付けておきますので、お時間があればご観賞下さい。

（有限会社小倉一級建築士事務所 小倉 宏志）



本社内部



日本海



町並み保存地区



写真で観る真庭



グリーンナブル蒜山

絵画同好会

同好会を発足してから今年で300回を迎えました。継続できましたことはYSKの皆様からの理解の賜物です。御礼申し上げます。会は第二土曜日の午後2時～5時迄です。終了間際に忠隈宏子先生から講評を受け終了です。3時間は夢中で描き、途中先生からアメ玉の差し入れがあり、この時が休憩時間で一息入れるところです。絵の課題は静物、コスチューム、裸婦、の順番。会のメンバーはYSK会員、協力会、連合会の会員で、毎回の出席者は女性2人と老練な男子10人の計12人です。若手が存在しないのが残念です。若手が入会することを願っています。関内、桜木町地区には小さな画廊が点在していますが、活気のない商店街です。他の展覧会で会場内での会話で、「絵の始末で人様に差し上げるにも顔がないと失礼だし、家では収納スペースがない、何れは燃えるゴミの運命か、しかし描いた時の出来事を思い出し、捨てがたい。思い出が詰まっている。」出展者らしき人の囁きでした。同感です。終わりに、会の幹事は長年にわたり石塚氏が黙々と奮闘、努力されています。感謝です。（株式会社柳田建築設計 柳田 勇）

石塚	土屋	白井	小材	白川	柳田
					
岩瀬	磯ヶ谷	岩田	奥山	塩田	正岡
					

ゴルフコンペ



令和4年11月1日、磯子カントリークラブに於きまして、第73回の歴史ある大会でベストグロス賞を頂いた上、尚且つ優勝することが出来ました。優勝するということは自分にとって、ある程度スコアが良かったり調子が良かったという事になります。そういう状況のときは、同伴競技者が良かった事にはあまり気づきません。健康なときに健康に感謝せず、病気になった時に健康に感謝するのと同じです。コンペや同伴競技者に恵まれないと、自分がリズムに乗っていけなくなったり、ゴルフに集中できませんが、YSKのコンペはいつも楽しく、今回は特に和気あいあいとプレーすることが出来ました。主催者の運営や組合員の皆様にご感謝すると共に、これからも末永くお付き合い頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。
(株式会社渡辺建築設計事務所 渡邊 吉郎)

令和4年11月1日、磯子カントリークラブに於きまして、第73回の歴史ある大会でベストグロス賞を頂いた上、尚且つ優勝することが出来ました。優勝するということは自分にとって、ある程度スコアが良かったり調子が良かったという事になります。そういう状況のときは、同伴競技者が良かった事にはあまり気づきません。健康なときに健康に感謝せず、病気になった時に健康に感謝するのと同じです。コンペや同伴競技者に恵まれないと、自分がリズムに乗っていけなくなったり、ゴルフに集中できませんが、YSKのコンペはいつも楽しく、今回は特に和気あいあいとプレーすることが出来ました。主催者の運営や組合員の皆様にご感謝すると共に、これからも末永くお付き合い頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。
(株式会社渡辺建築設計事務所 渡邊 吉郎)



協力会だより

YSK40周年を迎えて 協力会会長 株式会社アルテック 岡田 敏央



YSK40周年お慶び申し上げます。地域貢献を理念に掲げ、横浜のまちが住みよく、さらに魅力あるまち、であることを目指して都市と生活の環境づくりを考えて活動をしておられる、横浜市建築設計協同組合のパートナーとさせていただいてから、協力会も38年経過致しました。歴代の諸先輩方の協力会会長の後を2019年5月の総会を経てその大役を継がせていただきました。これからも技術がめまぐるしく進化を続けるYSKと共に、その活動をしっかりサポートすることが出来る協力会であり続けたいと協力会一同願っております。

株式会社川久保企画 尾張谷 悟



この度、協力会副会長の重任を務めさせていただく事となりました株式会社川久保企画の尾張谷と申します。弊社は「測る」ことの追求をテーマとして、測量、建物劣化調査、コンクリート・鋼材試験を主に行っております。常に最新技術を取り入れることにも努めており、3Dスキャナを使ったBIM化やドローンによる計測等にも取り組んでおります。「こんなことができるかな？」などのお問い合わせでも結構です。少しでも皆様のお役に立てますと幸いです。大変微力ではございますが、精一杯盛り上げて参りますので、何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

三晃金属工業株式会社 南関東支店 営業推進課 渡邊 宏



この度、異動に伴い担当をさせていただきます三晃金属工業(株)の渡邊です。弊社は創立以来70年以上にわたって金属屋根、壁でお世話になっております。長尺屋根はアリーナ、体育館、校舎、空港施設、駅舎、美術館、博物館などの公共施設から、工場、倉庫、リゾートホテルなどの民間施設まで多種多様な建築物にご採用いただいております。近年は改修工事に力を入れており、屋根カバーの調査だけでなく金属屋根の塗装改修の調査も行っています。今後も引き続き皆様のお役にたてるように尽力してまいりますのでよろしくお願ひします。

不二サッシ株式会社 横浜支店 開発グループ 山本 修三



この度、前任者の急逝に伴い新たに担当させて頂く事になりました、不二サッシ株式会社の山本と申します。弊社は1930年の創業以来、90年以上にわたるものづくりの歴史のなかで培った技術力でビル建材事業を中心に色々なことに取り組んでまいりました。最近LED照明とアルミ型材を融合させた[ALBEAM SYSTEM]を開発しお施主様や設計事務所様へのPR営業をさせて頂いております。弊社の強みは都内近郊にあります自社工場の押出し・電解技術と、それを裏付ける実験設備を併設している事にごさいます。今後も皆様の多様なニーズにお応えすべく努力して参りますので何卒宜しくお願ひ申し上げます。

日本コンクリート工業株式会社 小澤 慶洋



この度、新たに協力会に入会させて頂きました。日本コンクリート工業(株)の小澤と申します。当社は、パイル(杭)、ポール、プレキャスト製品を製造・販売している会社です。パイルに関しては、日本では表層の堅固な地盤が少なく、重量のある建築物を支えるため、建築物の基礎にパイルが多く用いられています。当社は従来製品より高強度な製品の開発に成功し、以来業界内で重要な地位を確立しました。創業70周年を迎えた今日、創業から受け継がれる技術・ノウハウのさらなる向上、品質至上と安心・安全への追求により、お客様からの信頼に応え続けていくとともに、豊かな社会づくりに貢献する「100年企業」を目指してまいります。今後、皆さまのお役に立てるよう努める所存です。ご指導の程何卒宜しくお願ひ致します。

東京ガスネットワーク株式会社 神奈川支社 高橋 輝久



この度、ご縁あって4月よりお世話になります東京ガスネットワーク株式会社 神奈川支社の高橋と申します。よろしくお願ひします。東京ガスネットワーク株式会社は、ガス事業法の改正により、東京ガス株式会社からガス導管事業等を引継ぎ、新たなガス導管事業会社として2022年4月1日に事業を開始しました。官公庁様向けに、都市ガスの普及を通じた快適な環境の実現や、地域の過大解決策を考える共創活動を通じて地域の発展に貢献する所存です。皆様のお役に立てるよう尽力いたしますので、ご指導の程何卒よろしくお願ひします。

株式会社サクラ 白岩 博



この度、前任者(糸日谷)より担当を引き継ぐことになりました、株式会社サクラの白岩と申します。弊社は、昭和15年創業の改修専門工事会社です。共同住宅を始め公共施設、事務所ビルなど多種多様な建物の資産価値向上、環境の向上を目的とし日々業務に邁進しております。近年では新築工事なども手掛けております。弊社ではSDGsの認証を受け、またカーボンニュートラルについても社内、現場において積極的に取り組んでおります。お客様からのニーズにお応えすべく努力して参る所存です。皆様からのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

【編集後記】 相変わらずコロナの影響を受けながらの活動が続きますが、YSKの行事は少しずつ以前の状態に戻ってきたようです。今回はYSK40周年記念特別号ということで、例年よりボリュームアップでお届けしましたが如何でしたでしょうか?今年も横浜市の建築局優良建築設計者表彰や学校建て替えのプロポーザルでの組合員事務所の活躍が目立ちました。来年もより一層の活躍を期待します! (広報委員長 石川 禎)

■ 発行 2023年1月12日

■ YSK広報委員会 koho@ysk.or.jp

稲葉晃宏 石川禎 小倉宏志 児崎為之 小野哲広 横溝厚

■ 協力 株式会社アルテック 関西ペイント販売株式会社 株式会社サクラ 株式会社LIXIL 文化シャッター株式会社 株式会社ヒライデ 田島ルーフィング株式会社 株式会社川久保企画 JRCチーム